

〈2年〉



運動の秋・実りの秋



11月

10月の西部ブロック新人大会では、卓球女子が団体優勝、個人戦も石田彩歌さん優勝、丸西梨愛さん3位、大塚悠仁さんが5位に入賞しました。美馬地区駅伝大会でも、女子が準優勝というすばらしい成績を残すことができました。また、大島青松園での校外学習ではハンセン病に関する学習を深めました。今月もたくさんの行事があり、生徒のみなさんの活躍が楽しみです。



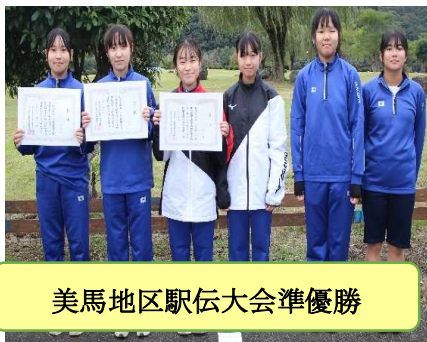
運動会



男女卓球部



女子テニス部



美馬地区駅伝大会準優勝



大島青松園訪問



大島青松園生徒の感想より



- ・講演会で入所者の方の話を聞いて改めてわかったことがたくさんありました。病気が治っても社会復帰が難しいこと、法律がなくなって自由に暮らせるようになったとしても差別がなくなるわけではないという話を聞いて、感染症に対する根強い差別をなくそうという思いが強く伝わってきました。私自身も差別につながる言動をしたり、偏見をもったりしないように、普段の生活から心がけていきたいと思いました。
- ・ハンセン病患者は、偏見や差別の対象とされ、患者を強制的に隔離し、治療法が確立されたのに、隔離政策をそのまま継続されました。しかも、人間扱いされずに強制労働を強いられました。私だったら耐えられないと思います。話をしてくださった方の言葉がとても心に深く響き、こういう差別は絶対繰り返してはいけないと思いました。この学習を通して、自分自身が偏見やまわりの声に左右されずに、自分の意見を持ち、差別を絶対にしない人間になりたいです。小さなことの積み重ねでも一つ一つ努力をしていきたいです。

